

アウトドア資源を活用したまちづくりを

〜亀岡市とモンベル「mont・bell」包括連携協定締結〜



協定を締結し握手を交わす辰野会長(左)と桂川市長

10月28日、アウトドア用品の大手ブランドとして知られる株式会社モンベルと亀岡市は、亀岡の豊かな自然とアウトドア資源を活かしたまちづくりを目指すこととして、包括連携協定を締結しました。インテックス大阪(大阪市)で開催された「モンベルクラブ・フレンドフェア2018」で協定締結式を開催。株式会社モンベルは、全国の自治体と包括連携協定を締結し、アウトドアを通じて地方創生の実現に取り組んでいます。京都府内初の締結と

なる今回の協定は、①自然体験の促進による環境保全意識の醸成、②子どもたちの生き抜いていく力の育成、③自然体験の促進による健康増進、④防災意識と災害対応力の向上、⑤地域の魅力発信とエコツーリズムの促進による地域経済の活性化、⑥農林水産業の活性化、⑦高齢者や障害者などの自然体験参加の促進といった7つのミッションについて連携することとしています。多くの入場者が集まる中、(株)モンベルの辰野勇代表取締役会長と、桂川市長が協定書に署名。桂川市長が「関西屈指のスポーツ拠点を目指す亀岡市にとって、自然を活かした体験型観光や子ども



多くの入場者でにぎわう会場

による環境保護など、自然の豊かさを実感できるまちづくりを進めるうえで大きな力となることを期待しています」と話す。辰野会長は「亀岡は私にとって、何度も川下りをしたなじみのある場所。アウトドアのノウハウを活かし、7つのミッションを両者で手を携えて進めていきたいです」と、相互の連携について確認しました。

広げよう！地域福祉の輪

〜第31回市民福祉のつどい・ふれあいフェスティバル2018・健康いきいきフェスティバル2018〜

10月21日、ガレリアかめおかにおいて、「互いに思いやり共に支え合うまちづくり、福祉コミュニティ」を目指し



手話コーラスによるオープニング

て、地域福祉の輪を広げる「第31回市民福祉のつどい」「ふれあいフェスティバル2018」「健康いきいきフェスティバル2018」を合同開催しました。

開会式では各福祉分野で活躍された人たちが、健康づくり絵画、簡単一品料理レシピコンテスト、福祉作文コンクールなどの入賞者への表彰が行われました。また、チャリティーバザー、お楽しみ抽選会、わくわくふれあい広場や啓発コンサート・展示会などの催しや、歯のひろばやおて



歯のひろばでお回の中をチェック

がるクッキングをはじめ、健康に関する展示・体験コーナーなど、会場はにぎわいに包まれていました。多くの人が訪れた中で、高齢者・障害児者・親と子、世代を超えた交流が生まれるとともに、健康や福祉についてあらためて、広い視野で考えるイベントとなりました。

コミュニティ活動の推進を

〜和太鼓の整備〜

(二財)自治総合センターのコミュニティ助成事業を活用



このたび新調された和太鼓(前列5台)

し、新調された「大井太鼓」の和太鼓が11月18日に大井小学校で開催された大井町文化発表会で、初お披露目となりました。同事業は、宝くじの助成金をもとに、住民の行うコミュニティ活動を推進し、その健全な発展を図るため実施しているものです。今回、新たに5台の和太鼓を整備したことで、さまざまな催しで使用することができ、これまで以上に地域の祭りとコミュニティの活性化や後継者の育成を含めた地域の伝

第三百九十七回 亀岡ちよつと昔の道具箱 ⑳

文化財めぐり

回転行火

行火とは、木の枠の内側に、炭火を入れて、手足を温めるための道具です。一見、櫛炬燵(置き炬燵)と似ていますが、上に布団をかぶせて複数で暖を取る炬燵と違って、行火は基本的に一人で暖を取るものです。冬、寒い時などには、布団の足元に入れて、暖をとりました。小学校3年生の社会科では、「古い道具と昔の暮らし」について学習します。小学生は、道具の形から「温まるための道具」と推理しますが、使い方を説明すると、今度は「コワー」と心配してくれます。



▲回転行火

確かに、寝ている時に足元で、炭火が燃えているのは危ないし、万一、間違っただけで蹴ってしまったら、火傷や火事の危険があります。子どもたちは、実際に行火を回してみても「すごい」と驚きます。こういった先人の工夫に触れ、道具を知ることで、暮らしの変化を学習します。そして、過去の多くの人々の工夫や願いが、今の自分たちの生活につながっていることを理解していきます。古い道具は、珍しさや懐かしさだけのものではなく、世代間の理解を助け、亀岡の歴史を物語る大切な資料なのです。(文化資料館)



統文化の継承に寄与することができます。勇壮な太鼓の音に来場者は大きな拍手を送っていただきました。亀岡市は、これからも快適なまちづくりに取り組んでまいります。